

## 意見・要望等まとめ

《回答欄の記載について》

- ・当日、議員がお答えした内容は「黒字」で記載しています。
- ・補足など、後日整理した内容は「青字」で記載しています。

### 【議会からの報告事項（家庭用防犯カメラ等の購入費・設置費補助金について）】

会場	担当	意見・要望等	回答
サントピア 大竹	A班	カメラ、インターフォンは一家で2件申し込めますか。	申し込めますが、補助金の上限額は2台でも1万円となります。補助は一家に1回が原則ですので、来年も重ねて申し込むことはできないと思われます。
木野集会所	C班	防犯カメラの説明がありましたが、木野川手地区でどのくらいの防犯カメラが設置してあるのでしょうか。	大竹市が設置している防犯カメラについては、市内全域で35台あります。そのうち、木野・川手地区については、両国橋に1台設置しています。また、周辺地域においては、油見トンネルの大竹側、さらに元町のマルキュウ前にも設置しています。

### 【議会からの報告事項（補聴器購入助成について）】

会場	担当	意見・要望等	回答
木野集会所	C班	補聴器の件ですが、最近特に耳が悪くなってきたので補助が出るのは助かります。	診断書が出てからでないとい費用が請求できないので、この点は気を付ける必要があります。補聴器の調整ができる店舗は市内に2店あり、その他の店舗については、市役所で調査確認作業を行っています。 <b>【執行部のコメント】</b> 現在、市内で高齢者補聴器購入費助成事業の医師の意見書を記入できる医療機関は、1医療機関だけになります。また、見積書を作成できる店舗は、市内に1店舗だけ把握しています。これらの情報は更新していきますので、市ホームページで確認をするか、地域介護課へお問い合わせください。

【議会からの報告事項（岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する意見書の提出について）】

会場	担当	意見・要望等	回答
阿多田 保育園	C班	FCLPの影響について騒音が聞こえることがありました。議会としてどのような動きをしていますか。	議会としては、意見書を提出しました。先方からの回答は現時点ではありません。

【議会からの報告事項（議会情報の発信（SNS、議会だより）について）】

会場	担当	意見・要望等	回答
おがたピア	A班	議会だよりの豆知識などの場所がわかりません。	ページ右端のわしこいちゃんなどを説明しました。
		二次元コードは苦手な人がいるので、市民には半分くらいしか伝わらない恐れがあります。紙版なら機械が苦手な人にも分かるので、市議会だよりでも配慮してほしい。	スマホの使い方を知る機会にしてほしい。ユーチューブは紙版で見ることができないので、二次元コードを使っていただくようお願いします。
		スマホ普及の講座が公民館活動でもあります。こうした講座に力を入れてもらえると市民のスキルが上がると思います。	議会だよりをサンプルにして練習するのもよいと思います。 ⇒執行部に伝達しました。

【意見交換】

会場	担当	意見・要望等	回答
サントピア 大竹	A班	<p>南海トラフ地震では、大竹は津波が心配です。近くの高い建物へ早期避難ということで東栄の日本製紙の4階建てアパートが使えないか同社と話をしています。また、5階建ての県営住宅にも避難はできないでしょうか。10年ほど前に提案した時は「県の物だから…」と言われました。市から県に掛け合って3～5階を1部屋ずつ借り切ってはどうか。避難先のトイレが洋式化されているかも気になります。</p>	<p>本市では、最大で3.4メートルの津波や震度6強が予想されています。栄町や港町は液状化の恐れもあるため、避難所として指定できるかどうか調べておきます。  <b>【執行部のコメント】</b>                      市では、地震による津波からの緊急的な避難場所として津波避難ビルの指定を進めており、サントピア大竹など現在5か所の施設を指定しています。また、浸水時緊急避難施設としてサンホテルなど3か所の施設を指定しています。今後も指定施設を増やしていく中で検討したいと思いますが、これらの施設は緊急的・一時的な避難場所であるため、部屋や洋式トイレの確保など、ある程度の滞在を前提としたものについては、別に検討していく必要があると考えています。</p>
		<p>小瀬川の決壊や南海トラフへの対策で危機管理課から避難講習会に来てもらい、避難のしかたを教えてもらっています。南栄では浸水30センチくらいはよくあります。新町ポンプ場の進捗はどうなっていますか。</p>	<p>新町ポンプ場は、一時期進める動きがありましたが、その後あまり進んでいません。引き続き市に働きかけていきます。  <b>【執行部のコメント】</b>                      新町ポンプ場については、引き続き関係機関と調整を行っています。雨水排水路の維持管理を行っている土木課では、水路上の歩道床板改良時に、水路断面を大きくしたり、水路底にコンクリートを施工して流速を速めるなどの道路・家屋の冠水対策を進めています。</p>
		<p>9月の記録的降雨で南栄の自宅周辺も水浸したので、何か手立てをしていただきたい。小瀬川堤防は、鉄道と国道の間で工事があると聞いています。下流までかさ上げする計画はあるみたいですが、南栄1丁目は特に低いので心配です。</p>	<p>鉄道と国道間の堤防工事は、今年度中に完成する可能性があります。令和7年度中に完成予定と聞いています。</p>
		<p>雨水対策より人命に直結する土砂災害のレッドゾーン解消が優先との考えもあると聞きました。新町ポンプ場が進まないのなら、実行可能性のある計画に修正し、グラウンドの下に貯水槽や、道路下の大深度に大口径パイプを埋めて、一時的に貯水する方法もあるのではないですか。</p>	<p><b>【執行部のコメント】</b>                      雨水を貯水する施設や大口径管は、浸水対策として一定の効果は期待できると思われませんが、浸水対策は、雨水を管渠やポンプ場などにより支障なく排水することが基本となります。雨水貯留施設も新町ポンプ場などと同様に、水路や河川へ雨水を放流する先の用地や排水管路整備に十分な検討が必要となるため、現状としては必要な雨水排水対策として新町ポンプ場の整備を考えています。</p>
		<p>人口減が続く、20年後の人口は2万人を切ると思います。企業があるので法人税も入るのに、子どもも少なく、大企業の採用数も少なく、働く人は都会に出て行ってしまいます。</p>	<p>大竹の町の魅力が必要となります。国税の法人税は本社が東京で納めるし、法人事業税は県税です。法人市民税も市民の住民税に比べて圧倒的に少なく、固定資産税は市民も払います。企業があるから安泰というのは幻想で、人口減は今年で50年連続となり、全国に30年先立っています。工場の町は嫌がられるからです。大竹で働いても他市に住みたい人が多くなっています。                      ⇒執行部に伝達しました。</p>

会場	担当	意見・要望等	回答
サントピア 大竹	A班	大竹の魅力向上のため、亀居城の活用など文化・歴史にも予算を回してほしい。	文化で工場イメージを中和する方法があります。岩国は錦帯橋、福山は福山城や鞆の浦、水島コンビナートの倉敷は美観地区で中和し、工場の町とは思われていません。 ⇒執行部に伝達しました。
		野良猫を受け入れる活動をしている猫じゃらしの会があります。野良猫を捕獲して病院で避妊手術をしています。この避妊手術に市がお金を払う仕組みを岩国市や廿日市市のように大竹市でも導入してほしい。	【執行部のコメント】 野良猫の避妊、去勢手術の費用の一部を助成する事業を令和8年7月から実施する予定です。
おがたピア	A班	災害時の水供給体制、図書館の小方分室、大竹岩国道路、小方新駅、小方公民館設置はどうなっていますか。	図書館の本館は、旧小方地区（立戸）にあるので、小方に分室がないのかもしれませんが。確かに小方に分室があれば便利だと思います。岩国道路は国の事業ですが、一定程度進んでいますが、土地収用の問題で遅れている部分もあると聞いています。 【執行部のコメント】 「災害時の水供給体制」について。市での備蓄のほか、給水車や他市町との相互応援協定による対応、また、多くの民間事業者と物資の供給に関する協定を締結しており、これらにより飲料水等の供給体制を確保します。 「図書館の小方分室」について。図書館法に基づき市の条例で定める公立の図書館は、小方地区（立戸）にある市立図書館です。自治体によっては、分室を規定するところもありますが、本市では特に規定する予定はありません。そのため、各公民館や大竹会館などに、図書室又は図書コーナーを設置しています。 「岩国大竹道路」について。令和7年度は高架橋の下部工事（小方地区）や法面対策工事（元町地区）などが行われました。令和8年度も引き続き工事が進められる予定です。なお、事業用地取得の進捗率は約92%（令和7年3月31日現在）です。 「小方公民館」について。平成28年10月に閉館し、「地域福祉会館」となりましたが、引き続き地域のみなさまが利用できる施設となっています。そのため、今後改めて設置する予定はありません。 「小方新駅」については、次項参照。
		新駅のアンケートがありました。それ以降の情報がないので、みんな心配しています。結果を広報に載せればいいのではないですか。	【執行部のコメント】 新駅設置の可否について鉄道事業者と相談している段階です。公表できる状況になりましたら、市広報などに掲載したいと思います。
		今日の報告会のメニューもいいですが、小方で報告をするなら、小方まちづくりを優先テーマにするべきではないですか。	各地域共通テーマを設けさせていただきました。地域課題については、この後の自由な意見交換の中でさせていただきます。

会場	担当	意見・要望等	回答
おがたピア	A班	<p>小方ヶ丘に東側からクズ（葛）が侵入して道路を覆っています。クズ固有のカメムシも発生し、布団や洗濯物に付いて住民は困っています。しっかり除去してほしい。小方学園への2方向からの通学路もクズに覆われ、青木線沿いの卸場川もクズまみれで景観の悪化がひどいです。あと御園下の芸南ハウス～セブンイレブンや線路沿いのクズもひどい状況です。クズの生え際を断つなどして改善してほしい。</p>	<p>クズの繁茂がすごいことは認識しており、取り組みが進むよう市に要望します。 ⇒執行部に伝達しました。</p>
		<p>小方小・中学校跡地の入札の話はどうなっていますか。南海トラフ地震で3.5メートルの津波が来たときの対応はどうなっていますか。また、大竹で道路の陥没はありますか。それと晴海の野球場のネットが破れています。</p>	<p>小方小学校跡地は公募が流れて中学校跡地と合わせて検討中です。大竹・廿日市に津波が来たという記録はありません。護岸崩壊の想定は行き過ぎかもしれませんが、宮島口で道路陥没はありましたが、大竹では調査中です。 【執行部のコメント】 「小方小・中学校跡地の入札」について。小方小学校跡地（A地区）の処分について、現在、検討中です。 「南海トラフ地震時の津波対応」について。津波に対しては、緊急の場合は近くの頑丈な高層建物に避難することとなりますが、基本的には自然地形の高台に避難することが重要です。 「道路の陥没」について。年数件ありますが、いずれも小規模で、簡易な修繕で済んでいます。 「晴海臨海公園の野球場のネット」について。令和7年度に修繕しています。</p>
		<p>岩国玖珂断層の見通しはどうなっていますか。</p>	<p>確実なことは分かりません。予測はあまり当たりません。自助6・共助3・公助1という考え方もありましたが、高齢化などで実践が難しい面もあります。</p>
		<p>小方ヶ丘北詰丁字路から三ツ石丁字路までの間は速度制限標識がないので、学校の前なのに法律上は時速60キロとなります。せめて50キロ、できれば40キロにしてほしい。</p>	<p>大きな問題ですので、持ち帰って確認します。 【執行部のコメント】 速度規制などの道路交通法に関することは、公安委員会の所管です。要望については大竹警察署に伝えます。</p>
		<p>亀居公園の桜は大半が老木化して、風の強い日などに太い枝が落ちることがあります。桜の植え替え計画が必要です。</p>	<p>亀居城は、かつては県下一の桜の名所になったこともあり、もっと良くなるはずですが。除草は年2回から3回に増えたものの手入れが行き届かず寂れています。小方の議員5人で亀居城を良くする取り組みもしています。以前は観光客もいましたが、今は見かけなくなりました。議員の間でも亀居城再生に向けて何とかしようという気運はあります。 【執行部のコメント】 樹木の剪定、間伐を適宜行います。</p>

会場	担当	意見・要望等	回答
おがたピア	A班	以前陳情を出したこともあるが音沙汰がない。陳情のルールはどうなっていますか。	市長と議会の両方に出すこともあります。大竹市では議会に陳情書を出せば議案になります。紹介議員がいれば請願になります。
		下瀬美術館にもっと人が来るよう働きかけをしてください。若い人が住み着くよう努力をお願いします。	下瀬行ったことのある人はいますか。(挙手大半) ⇒執行部に伝達しました。
松ヶ原集会所	A班	小方小・中学校跡地などの再開発はどこまで進んでいますか。	ほとんど決まっていません。小学校跡地は公募しましたが、該当がなく白紙状態です。民間の要望と大型店不許可の市の方針にミスマッチがあります。民間が小さい店を出しても大型店には勝てません。 【執行部のコメント】 小方地区のまちづくり基本構想に沿って、施策を進めています。小方小学校跡地(A地区)の処分については、現在、検討中です。
		「玖波駅の西口には駐車場がなく、やむなく高速道路の高架下に駐めて駅まで歩いている」と言ったら、議員や職員も「知らなかった」と言われました。議員と職員の間には意見交流がないのですか。	今後どのように努力していかなければならないか理解しました。
		耕作放棄地問題などの見通しはどうなっていますか。	休耕地が増加し、そこに太陽光発電が増加しています。里山の機能不全を何とかしなくてはいけないと感じています。地域計画の骨子はできていますが、実施についてはこれからとなります。 【執行部のコメント】 後継者不足や高齢化などの理由により、耕作放棄地は今後も一定程度の増加が懸念されます。こうした中、令和7年12月から農地を貸したい人と借りたい人とを結びつける「大竹市農地バンク」を運用しており、耕作放棄地の増加の抑制につながることを期待しています。併せて、地域内での話し合いを通じて、農地の集積・集約を進めることで効率的な農業経営を促進したいと考えています。
農業の先行きの見通しがなく、松ヶ原地区も半分は休耕地です。地域計画は策定済みですが、具体的な行動計画が不明です。休耕地再生に取り組むために農機具の共同利用の仕組みはできませんか。廿日市市では、農機の共同利用の支援が内定しています。大竹では獣害対策の柵のような小さいものに限られ、前向きの振興策への補助がないのが残念です。積極的な支援がほしい。松ヶ原地区の田畑のほとんどは大竹市域です。住民の4分の3は大竹市、4分の1は廿日市市ですが、住民は一緒にやっており、廿日市市はそのことを理解してこの地区の大竹市民も応援してくれています。農地貸し借り制度と農機の共同利用と合わせて振興を図りたいと考えています。	農地貸し借り制度の農地バンクの現状はどうなっていますか。 【執行部のコメント】 耕作放棄地が発生している状況を少しでも抑えるため、令和7年12月から農地を貸したい人と借りたい人とを結びつける「大竹市農地バンク」を運用しています。しかしながら現在登録している農地はない状況なので、内容を周知していきます。 農業用機械への支援については、国・県や他市の動向を踏まえ、検討します。		

会場	担当	意見・要望等	回答	
松ヶ原 集会所	A班	先週こぶしの里の4周年のイベントがあり、市広報で宣伝していただき感謝します。デマンド型乗合タクシーの協議が止まっています。渡ノ瀬地区など、廿日市市の住民も利用するこの地区の公共交通の進捗はどうなっていますか。	デマンド型乗合タクシーは、地区をまたいで乗れる新たな運用が開始されています。デマンド型乗合タクシーは、地区が主体となり導入に向けて協議し、それを市が支援することになります。	【執行部のコメント】 令和8年3月7日の地元との協議において、デマンド型乗合タクシーの運用見直しや大竹・栗谷線バスの現状について説明を行い、多くの要望や意見をいただきました。そこで出た課題等を整理した上で、市としての考え方を改めて示したいと考えています。
		デマンド型乗合タクシーについては、どの方向に進んでいるのか市に尋ねましたが、説明に来てもらえていない。新たな運用で開始されているらしいが、それ以降のことがわかりません。	デマンド型乗合タクシーの新たな運用は市広報に載りましたが、引き続き、住民に情報提供するよう市に求めます。	
		デマンド型乗合タクシーの話は、廿日市市との関係で止まっているのではありません。もう2年以上かかっており、あまりに長いです。	デマンド型乗合タクシーを松ヶ原地区が導入すると、大竹栗谷線バスがいないとなる可能性もあります。既存の大竹栗谷線バスとデマンド型乗合タクシーの並立が難しいので、行政が素早く動けないのではないかと考えられます。	
		大竹栗谷線バスは「空気を運んでいる」と言われますが、バスの便数がこれほど少ないと使えません。学校や仕事に遅刻したり、早退したりせざるを得ないのが現状です。ある時まで市と協議していましたが、昨年度に急にプツツと切れてそのままです。	市役所は、職員の異動も多いためだと思われる。	
		(公共交通について)「来年4月からやりましょう」と言っていたのにパッと協議が止まったのが納得できません。	松ヶ原地区ではどういう公共交通がほしいのか明らかにしてほしい。	
		(公共交通について)市役所より議員の方が分かっていないです。	栗谷地区は観光客が来ることを考えてバスはほしいと思っています。	
		(公共交通について)議会の認識が今のようなのは残念です。	弥栄大橋から先にバス便を延ばして栗谷のバス便を確保する手もあります。	
		松ヶ原地区はデマンド型乗合タクシーを希望しました。デマンド型乗合タクシー問題で栗谷地区と松ヶ原地区を調整するのは市の仕事ですが返答がありません。しっかり勉強してほしい。	松ヶ原地区がデマンド型乗合タクシーを求めているということは分かりりました。勉強不足を認めます。	

会場	担当	意見・要望等	回答
立戸集会所	B班	油見から立戸郵便局前の交差点への通行車両への対策について伺います。	当該道路は、以前から危険性が指摘されている箇所です。通行車両のスピード超過や、近道として利用されることで交通量が増加しています。警察による取り締まりや、道路上のグリーンベルト設置などの対策が行われましたが、警察の日常的な対応は困難で、グリーンベルトも消えている状況となっています。交通を制限することは難しいですが、自治会として意見書や要望書を提出することで、改善に向けた検討が進みやすくなります。 ⇒執行部に伝達しました。
		地区内の坂道、特に水路の蓋の整備や道路事情について伺います。	水路（側溝）に蓋をしたり、道路との段差を解消したりする工事は、技術的にも費用面でも容易ではありません。特に、家と道路の段差に関わる工事には、近隣住民や自治会内での合意形成が必要です。自治会活動を通じて、地域住民の総意としての要望をまとめ、継続的に提出することが重要です。 ⇒執行部に伝達しました。
		高台団地に住む住民の公共交通の利便性について伺います。	市では各地域で乗り合いタクシー事業が行われています。これは、自宅近くから乗降可能で、運賃も比較的安価（例：片道250円）に設定されています。この事業は地域で利用したい住民の意見をまとめて、市民課に相談することでサービスの導入がされています。
		大竹市の人口減少対策及び空き家対策について伺います。	市は全国的な問題である人口減少に対し、市長の方針のもと、子育て支援（給食費の無料化、おむつの宅配など）に注力しています。また、空き家対策として「空き家バンク」制度がありますが、登録件数が少ない（現在1件）という課題があります。危険な「特定空き家」への対応は行っていますが、活用可能な空き家を増やすために、市民からの意見を聞きながら制度の改善を検討していくことになっています。
		今回の報告会の内容（生活道路の安全確保）に関して、意見書を作成したいので、相談に乗ってほしい。	議会事務局にご相談ください。

会場	担当	意見・要望等	回答
玖波公民館	B班	こいこいバス停留所の騒音について伺います。	<p>玖波コミュニティサロン付近のこいこいバス停留所における騒音問題については、小方橋架け替え工事に伴い、令和7年4月からダイヤ改正が行われ、玖波駅の待機時間は15分から3分に短縮されました。市議会では、工事が終了した後も、待機時間を短縮したダイヤが維持され、「元に戻ることはない」と認識しています。ご意見は市に伝えて、騒音対策や周辺への配慮を引き続き求めていきます。 ⇒執行部に伝達しました。</p>
		玖波8丁目の大野鳴川から玖波8丁目に架かる道路整備において、歩道整備もしていただきたい。	<p>廿日市鳴川3号線道路整備事業により、大野鳴川側から市境まで2.5mの歩道が令和10年に完成予定となっていますが、大竹市側（玖波8丁目）の既存歩道が約50m途切れて、住民が危険な思いをしているのは現地を見て把握しています。この歩道整備の要望を実現するためには、玖波地区の要望としてまとめて市に提出することが最も効果的です。 また、関連して、新しい道路を活用したハートバスのルート変更と停留所の設置要望については、市に伝えます。 【執行部のコメント】 現在、廿日市市（鳴川3号線）と大竹市（玖波29号線）を連絡する道路の整備を行っています。現状では、玖波8丁目の団地から玖波29号線へ接続する道路には、幅1m程度の歩道はありますが、途中で切れており玖波29号線に接続していません。現地の状況と歩行者等の利用状況を確認し、歩行者空間の確保について検討します。 おおのハートバスに関する要望は、廿日市市公共交通協議会に伝えます。</p>
		玖波7丁目は、道幅が狭く、両側の水路（溝）が深く危険な状態にあるため、対策をお願いします。	<p>この地域は、最初にできた団地であるため、道幅が狭いことを認識しており、意見を地区の要望としてまとめていただきたい。 ⇒執行部に伝達しました。</p>
		玖波公民館の建替え後、コミュニティサロン玖波はどうなるのでしょうか。	<p>令和9年3月に新しい地域交流会館が完成した後の、既存のコミュニティサロン玖波の建物（建物自体）の活用方針については、現時点ではまだ方針は決まっていません。 建物の敷地に防火水槽が埋設されているため、今後検討していくこととなります。</p>
		坂本家電から上がる一方通行の突き当たりの右側の視界が見えにくいので、カーブミラーを設置してほしい。（玖波4丁目自治会）	<p>要望を市に伝えます。 ⇒執行部に伝達しました。</p>

会場	担当	意見・要望等	回答
玖波公民館	B班	市内で食事をするところがあまりありません。ぜひ食べどころも観光振興計画に入れていただきたい。	下瀬美術館の来場者が10万人を超えている状況で、食事処が不足しており、気軽に利用できる場所を行政側から対応できないかという要望も受けています。現在、具体的な計画はありませんが、小方まちづくり特別委員会で、この課題を一緒に考えていきたい。 ⇒執行部に伝達しました。
		議会のテレビ中継の休憩時間（12時～13時）について、休憩中のテロップだけでなく、もっと大竹市をPRする映像（桜祭り、栗谷の風景など）を流すなど、利用方法を考えて欲しい。	予算やテレビ局との調整が必要で、対応が難しい状況です。現在はテロップの内容改善（再開後の議題表示など）に留まっていますが、引き続き議会内で検討します。
		西国街道の整備（総務文教委員会の報告事項）について、本当に道があった場所を修復する方が一番良いと思うので、計画の見直しと歴史的財産の復活を求めます。	総務文教委員会から報告した西国街道（小方2号線）の常設階段整備（予算2,100万円）については、私有地が多く、用地交渉が困難なことから、今回は、常設階段整備計画が進められています。
		大竹市は宮島と近い。玖波港や小方港などから宮島周辺を周遊する観光船（遊覧船）を出して宮島に参拝することはできませんか。大竹市と宮島を結ぶ観光船の運航を検討し、観光資源として活用すべきです。	過去にクルーズ船の実証実験が行われた実績や、議会内でも観光政策の一手として議論されていることを紹介した。 ⇒執行部に伝達しました。
小栗林集会所	B班	議員定数問題はどうなりましたか。	過去（約2～3年前）に議会のあり方調査研究特別委員会で定数の議論が行われました。その結果、人口比だけでなく、面積や財政規模、常任委員会の運営に必要な人数を考慮し、定数は16人で維持するという結論が出ています。この決定に満足している議員は全員でないものの、今後も状況に応じて検討していく可能性はあります。
		三倉岳の活用について伺います。	三倉岳は市ではなく、県が観光を進めています。現状は、山の間接地にトイレがなく、女性クライマーなどが途中で引き返す原因となっているため、トイレの設置が求められています。また、公共交通の運行についても、国道186号を通り栗谷と沿岸部を結ぶバスの運行など、地元住民からの強い要望が必要です。 ⇒公共交通の運行について執行部に伝達しました。
		道の駅構想について伺います。	市が検討している道の駅は、皆さんが一般的に想像するような「売る物」をメインとした施設ではなく、スポーツ・体験型の施設を検討しており、市民の方にも使ってもらうことを目的としています。

会場	担当	意見・要望等	回答
小栗林集会所	B班	人口減対策について伺います。	市は人口を増やすことは難しいと認識しており、人口の減り方を緩やかにすることを目指しています。本市の人口減は、社会減（転出）ではなく、出生数より死亡数が上回る自然減が主な原因となっています。市では、医療費無償化、小中学校の給食費無償化（広島県内初）、おむつの宅配など、子育て支援策を充実させています。また、今後は製造業中心では少ないとされる女性が働ける職場を、観光計画などを通じて増やすことで、若者が大竹市に定住し子育てができる環境づくりを進めていく方針です。
		中山間地域の農業について伺います。	松ヶ原地区と栗谷地区における地域計画は、まだ内容が詰められていない状況であり、具体的な施策として農地バンクや座談会の実施が検討されています。近隣市のような農業補助策はまだ具体化されていません。 【補足】 「農地バンク」は、令和7年12月から運用を始めました。
		公共交通対策について自治会を中心に要望をまとめても、行政との話し合いの場がなかなか設けられない状況となっています。	栗谷地区では、現状のバス運行（平日4便、日曜3便）に対して、デマンド型乗合タクシーの導入やルート改善（例：谷尻からの運行、家の前までの送迎）といった具体的な地域案が検討されています。話し合いの場がないということは市に伝えます。 ⇒執行部に伝達しました。
		農業全般について、廿日市市は肥料の補助が出るようになりました。大竹市はどう思っていますか。	【執行部のコメント】 肥料価格の高騰は認識しています。国・県や他市の動向を踏まえ、必要に応じて検討します。
		空家対策がまったくできていません。教員住宅や学校の跡地に企業を誘致できませんか。	【執行部のコメント】 旧教員住宅や旧栗谷中学校跡地の活用については、跡地活用の方向性が決まるまでは、周辺住民の方の迷惑とならないように適切な管理に努めます。
		老人施設を誘致してほしい。	⇒執行部に伝達しました。

会場	担当	意見・要望等	回答
アゼリア おおたけ	C班	議会だよりを見ると、議員審査で反対する議員が少ないです。	委員会に付託される議案もあり、各議員が質問や意見を交わしています。結果、反対はしていませんが議論は行っています。
		人口問題について、44,000人に届こうかという状況から、今や25,000人を切ろうとしています。市としては、どのように人口を増やすつもりですか。	【執行部のコメント】 近年では、晴海臨海公園の整備、認定こども園の建設、小・中学校の建替え・改修や、学校給食費の無償化、こども医療費の無償化などの子育て支援策の充実に取り組んでいます。 また、市営住宅の跡地処分や住宅・空家の改修・除去等に対する補助を拡充するなど、住宅地として活用できる土地が市場に増える可能性のある取り組みを行っています。 今を生きる世代が充実した暮らしができるよう、まちの機能を維持し、活力を損なわない、持続可能なまちづくりに取り組みます。
		白石の山側の市営住宅跡地の活用方法について、宅地としては無理でも、子どもたちがボール等を使って遊べる広場等に利用はできませんか。	【執行部のコメント】 市営住宅跡地については、子どもたちが遊べる広場として整備する予定はありません。しかし、新たな利活用や売却するまでの間、例えば自治会が管理し、利用したいということであれば、支障がない範囲で使用を許可することは可能であると考えています。
		デマンド型乗合タクシーについて、地区ごとに導入を決定するのではなく、もっと広い地域での導入を考えることは難しいですか。	【執行部のコメント】 デマンド型タクシーは、原則、自治会単位での導入となっていますが、栄地区のようにまとめて導入しているケースもあります。広い地域での導入を希望するのであれば、地元の中でしっかりと協議をし、取りまとめた上で市民課へ相談してください。
		大竹駅前広場にステージが出来ているが、年間でどのぐらい活用するのですか。また、エレベーターを降りてからタクシーまでの距離が長いので非常に不便です。	【執行部のコメント】 大竹駅前の交流広場は令和8年3月から使用を開始しています。まだ、年間の利用者数は分かりませんが、より多くの方に利用してもらいたいと考えています。エレベーターは駅の構造上現状の配置となりました。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきたいと思います。
		各自治会の掲示板が新しいものがあつたり古いものがあつたりします。古いものは街の景観を損なうので、非常にもったいないと感じます。きれいな掲示板を設置することで街の印象が変わるのではないですか。	【執行部のコメント】 掲示板設置のための補助金もありますので、自治会連合会総会で補助金を紹介します。
		市の公共事業についての予算の使い方について、もっと、国や県に要望書を提出するなどして、上手に活用してほしい。	⇒執行部に伝達しました。
		デイサービス等の施設を使いやすいように集約するなどの方法を考えてほしい。	⇒執行部に伝達しました。

会場	担当	意見・要望等	回答
アゼリア おおたけ	C班	市の排水設備（新町ポンプ場）について、工法を見直すなど、早期に実現できる方法を模索してほしい。	⇒執行部に伝達しました。
		防犯カメラを家庭だけではなく、公の場所にも増やしてほしい。	⇒執行部に伝達しました。
		大雨の際、元町2丁目は下水管が逆流してトイレが使えなくなります。改善も必要ですが、なぜそのようなことが起きるのか原因を知りたいです。これまでも説明を求めてきましたが、明確な説明がなく困っています。	【執行部のコメント】 道路内に設置してある下水道管へ雨水が流入し、下水道管が満水となり、汚水が流れにくくなる事が原因です。
		高齢者の買い物支援対策について、移動販売や生協など、どのような選択肢があるのか情報発信してほしい。	⇒執行部に伝達しました。
		新町2丁目の集会所は民家を借りています。しかし、来年3月で契約が切れるため次の場所を探しています。新しく建てたりすることはハードルが高いと思いますが、日常の活動が継続できるようにしてほしい。	⇒執行部に伝達しました。
		自治会や民生委員などのなり手不足と役員の高齢化、固定化といった課題があります。自治会の活動も縮小傾向であり、現在の子も達は自治会の恩恵を受けておらず、成人後も加入しない可能性が高いです。広報配布も負担となっており、自治会を退会される方も多いです。自治会への助成制度を見直して欲しい。	⇒執行部に伝達しました。
		ゴミステーションがカラスの被害にあっています。ボックス型のゴミステーションを市で設置して欲しい	⇒執行部に伝達しました。
阿多田 保育園	C班	島内の道路は舗装の劣化や段差、穴が多く、住民の安全が脅かされています。部分的な補修ではなく、全体的な改修が必要だと思います。	議会としても、以前からお聞きしている情報として市にも要望を出しています。自治会として直接、土木課に要望する手段も有効であると思います。 ⇒執行部に伝達しました。
		阿多田島フェリーと、こいこいバスの発着時間がリンクしていない時間帯があり、利用し難い時があります。	自治会において、デマンド型乗合タクシーを検討することも必要であるかもしれない。 【執行部のコメント】 令和7年4月から小方橋架け替え工事のため、こいこいバスのルート及びダイヤを変更しています。令和9年3月末の工事完了にあわせて小方港とのアクセスについて検討します。

会場	担当	意見・要望等	回答
阿多田 保育園	C班	小方新駅が出来れば、島民にとっても便利になるが、いつ頃完成するのですか。	予算規模も大きく、市とJRが協議中ですが、見通しは示されていません。
		フェリー利用に関して、若い人へのサポートをして欲しい。	高校生に対しては、通学定期券の補助、賃貸アパートの補助制度があります。
		阿多田島フェリー棧橋付近に、車いす対応トイレと待合室隣のトイレがありますが、両方ともに温水洗浄機能がありません。島民も使用しますが、釣り客も大勢利用するので改修して頂きたい。また、トイレの所有者と管理責任者がどなたかを知りたいです。	【執行部のコメント】 どちらも市土木課が所管・管理しています。令和8年2月に両方とも便器を温水洗浄機能付きの便器に交換しました。
		フェリーの交通費の補助が70歳以上並びに学生と未就学児及びその保護者となっていますが、補助の対象を拡大して欲しい。また、70歳以上の無料券については、その家族も利用出来るようにして欲しい。	【執行部のコメント】 70歳以上の本人以外の助成は、今のところ検討していません。また、補助対象の拡大・拡充は、島民全体の話として考える必要があります。 阿多田地区からの通学費は、現在、市内小・中学校に通学する児童・生徒については市が負担し、市外小・中学校並びに高等学校等に通学する児童・生徒・学生等については修学支援費補助金により補助しており、引き続き実施します。
		小方港の駐車場の満車が常態化しています。駐車場を有料化しても良いので、駐車台数を増やして欲しい。	【執行部のコメント】 現在、小方港を所管している広島県が小方港整備計画を進めており、その中で駐車台数を増やすことを検討しています。
		阿多田島から猪子島にかかる橋のたもとに外灯がなく、夜間に島内を移動するのに危険です。市営外灯を設置して欲しい。	【執行部のコメント】 自治会と現地確認をし、阿多田島側の橋のたもとに照明を設置します。
		猪が1頭いて、家屋や畑への侵入跡がありました。駆除してほしい。	【執行部のコメント】 農作物被害がある場合、市では有害鳥獣として捕獲（駆除）を実施していますが、まず農地に侵入させない対策が最も重要です。そのための防護柵の設置については、市の補助制度が利用できます。 なお、防護柵は設置方法によって効果が大きく変わるため、適切な設置が重要です。具体的な方法や補助制度の内容については、産業振興課へ相談してください。
		空き家があり、屋根や壁が崩壊している箇所があり危険です。市で確認・対応してほしい。	【執行部のコメント】 空き家の実態把握に努めていますが、すべてを把握することは難しいところもあり、地域のみなさまからの情報が重要です。危険と思われる空き家や気になる状況があれば、都市計画へ連絡してください。現地確認の上必要な対応を行います。

会場	担当	意見・要望等	回答
木野集会所	C班	<p>木野地区の人口減少に加え、自治会からの退会者の増加により、自治会運営が行き詰まり、様々な行事が縮小傾向です。また民生委員も欠員のままの状態です。大竹市として自治組織をどのように存続させるかを検討すべきではないでしょうか。</p>	<p>木野、川手地区に限らず、各地域共通の課題と認識しています。議会と執行部が真剣に向き合い自治会組織のあり方を検討していきたいと思えます。</p> <p>【執行部のコメント】 自治会の存続、自治会員の高齢化については、大きな懸念事項です。自治会連合会と一緒に自治会のあり方を検討しており、引き続き一緒に検討していきます。 民生委員の欠員については、地域からの推薦等により連携して担い手を確保したいと考えています。</p>
		<p>木野地区は公共交通の坂上線バスの運行ルート上にありますが、便数が少ない為に結果タクシーを利用しています。坂上線バスは、油見トンネルを通過して木野地区をルートから外してもらい代わりに、こいこいバスを延伸してもらえないですか。</p>	<p>自治会単位でデマンド型乗合タクシーを検討する方法もあります。</p> <p>【執行部のコメント】 こいこいバスは約30分で大竹駅～玖波駅間を結んでおり、1日17便（休日16便）運行しています。木野地区まで延伸すると時間が余分にかかるため、運行本数を減らすこととなります。利便性が悪くなることから、現時点でこいこいバスの延伸については考えていません。</p>
		<p>道路舗装を行っても、その後の官民の上下水道工事によって舗装がガタガタとなっています。一度に出来ないのでしょうか。</p>	<p>民の給排水工事はやむを得ないと考えますが、市の工事については、土木課、上下水道局が連携強化を図るよう要望していきます。</p> <p>⇒執行部に伝達しました。</p>
		<p>木野支所跡地は建物が解体され更地となっているが、今後の計画を示して頂きたいです。</p>	<p>【執行部のコメント】 木野支所跡地は、令和8年度中に公募を行い、民間に売却したいと考えています。</p>
		<p>市の歳入の状況を知りたいです。</p>	<p>市税等で賄えない部分は、国等の補助金に頼っています。本市の財政力指数は0.72で、歳入と歳出のバランスを考えて政策を行うよう努めています。</p>

会場	担当	意見・要望等	回答
木野集会所	C班	大竹市の人口減少の対策についてどのように考えていますか。	<p>子育て支援、小方まちづくりの状況等、大竹市の取り組みを説明しました。</p> <p>【執行部のコメント】</p> <p>日本全体で人口減少している現状においては、本市の人口が減少することは、しっかりと受け止め、その中でも市民が大竹のまちで幸せに暮らし続けていくための行政運営を講じていく必要があると考えています。</p> <p>近年では、晴海臨海公園の整備、認定こども園の建設、小・中学校の建替え・改修や、学校給食費の無償化、こども医療費の無償化などの子育て支援策の充実に取り組んでいます。</p> <p>また、市営住宅の跡地処分や住宅・空家の改修・除去等に対する補助を拡充するなど、住宅地として活用できる土地が市場に増える可能性のある取り組みを行っています。</p> <p>今を生きる世代が充実した暮らしができるよう、まちの機能を維持し、活力を損なわない、持続可能なまちづくりに取り組みます。</p>
		イノシン等の獣害があります。今年の夏も茄子等の収穫物が荒らされています。何とかならないでしょうか。	<p>【執行部のコメント】</p> <p>イノシン等による被害を防ぐためには、まず農地に侵入させない対策が最も重要です。そのための防護柵の設置については、市の補助制度が利用できます。</p> <p>なお、防護柵は設置方法によって効果が大きく変わるため、適切な設置が重要です。具体的な方法や補助制度の内容については、産業振興課へ相談してください。</p>
		地区内に空き家が増加しており、中には壁や屋根が崩落しているものもあります。また、車をそのまま放置している民家もあります。市は実態を把握しているのでしょうか。	<p>【執行部のコメント】</p> <p>空き家の実態把握に努めていますが、すべてを把握することは難しいため、地域のみなさまからの情報が重要です。危険と思われる空き家や気になる状況があれば、都市計画課へ連絡してください。現地確認の上必要な対応を行います。</p>
		不法投棄がひどい個所がありました。住民総出で清掃し、手作りの看板を設置してからは状況は落ち着いていますが、車からそのまま投げ捨てる人もいます。	⇒執行部に伝達しました。
		生協が移動販売車で月曜日と金曜日に来ていますが、生鮮食品が少なかったり、量が少なかったりします。車が利用できる方はいいですが、乗れなくなった時が心配です。	⇒執行部に伝達しました。